

アートパーク8 ～みんなバクハツ宣言～

7月19日(日)、松戸中央公園で「アートパーク8～みんなバクハツ宣言～」(主催/聖徳大学児童学研究所、生涯学習研究所)が開催されました。今回で8回目となるアートパークは、初めて雨で延期になりましたが、822名の親子が集まり、学生とアートな遊びを一日楽しみました。

大学と地域が連携し、公園の新たな活用法や、外遊びの重要性を提案してきたアートパークは、今回、千葉大学園芸学部の木下研究室も加わり、他大学とも協力して行いました。千葉大学は留学生が多く、国際交流の機会にもなりました。また、千葉大学では普段、子どもと関わる経験が少ないということで、現在、小学校教員や保育士として活躍している児童学科の卒業生が活動と一緒にいき、千葉大のランドスケープデザインと本学の児童学のノウハウが良い意味で刺激し合える場面が生まれました。

今回は、今までで一番多い14のワークショップが公園各所で行われ、昨年同様、児童学科のゼミ等(大成ゼミ、野上ゼミ、関口ゼミ、西園ゼミ、前野ゼミ、北沢先生・保育科有志、永井先生・保育科Ⅱ部有志、岩崎先生・保育科Ⅱ部ボランティア、美術部)と、地域団体(松戸まちづくり会議、KEYAKIDS、まつど工房、じゅんぴしつ、千葉大)が一部チームとなり、企画・運営を行いました。また、昨年の経験者である4年生と今回新たに保育科Ⅱ部が「おたすけ隊」となり、全体のサポートも行いました。

ワークショップの内容は、段ボールで作った5メートルを超す「トンデモボール(大成ゼミ)」の周りで絵具遊びを行ったり、「つなげよう! 夢をつめこむペーパーバッグ(北沢・保育科有志+KEYAKIDS)」では、紙袋に自由にお絵描きして公園に吊るしました。いつもと違うカラフルな空間が出来上



【爆発する迷路】
(千葉大学木下研究室、聖徳大学卒業生おたすけ隊)



【トンデモボール】(児童学科大成ゼミ)



【つなげよう! 夢をつめこむペーパーバッグ】
(短期大学部保育科有志+KEYAKIDS)

がり、この作品は、今後地域のお祭り等でも使う予定になっています。音楽の前野ゼミはお昼に演奏会を開き、親子で楽しみました。

当日は川並弘純学長先生をはじめ多くの先生方に参観していただきました。この場を借りてお礼申し上げます。「アートパーク」は今後も地域と連携し、公園を核に松戸のマンパワーが集結するプロジェクトとして継続していきたいと考えています。

(児童学科 准教授 大成 哲雄)